



在京古高同窓会会報
第40号

〒113-0034
東京都文京区湯島3-20-9-707
佐藤清勝税理士事務所内
在京古高同窓会事務局
☎ (03) 5818-2673
FAX (03) 5818-2674
URL <http://www.1tcn.ne.jp/~furuko>
Email zaikyo-furuko@mx5.tcn.ne.jp
発行責任: 曾根 研一
編集長: 亀井 明
印刷: (株)ケーヨー

年頭の挨拶

会長 高橋 俊裕



あけましておめでとございます。皆様方におかれましては清々しい心地で新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年十一月に二回ほど大崎市を訪れる機会がありました。その報告をもってご挨拶に変えたいと思います。

その十一月二日、我等が母校の創立百十周年式典に在京古高同窓会長としてお招きいただきました。

完全男女共学化の初年度とあって、在校生七〇〇余名と共に落着いた雰囲気の中で式典は挙行されました。「バンカラ」な古高イメージはなくなりましたが、進化する古高の姿を見守りたいと思いました。

式典後、伊藤貞嘉教授（古高四十七年卒）の講演がありました。題して「バンカラで世界を目指せ」。

教授はレニンの研究で高血圧学

会の世界的権威であります。自身のこれまでの過程をふりかえりつつ、説得力ある講演をなさいます。

バンカラとは本物志向である。本物を堅実に着実に求めていけば、世界へつながる道筋が見えてくる。その世界には色々な所から本物が集り、その人々の交り合いは素晴らしい。

今のうちから自分なりの夢を持ち、その実現にむけて努力すれば、本物に諸君もなれる、という趣旨でした。

その十一月十一日、国交省総合観光審議官と大崎市長の案内で大崎市を視察いたしました。朝五時から夕方五時まで、田尻から鳴子まで駆足の旅でした。蕪栗沼での千万羽のマガンの朝の飛び立ち、鹿島台の五市、松山の邑まつり、紅葉の鳴子峡、岩出山の旧有備館と庭園等々。

途中二回立寄った農家レストラン。素晴らしい景観、素晴らしい食材、地元で頑張る人々。やっぱり故郷は素晴らしい。それにつけても自分の知っている故郷の如何に狭かったことか。思い知らされた一日でもありました。

どうか皆様も今年こそは母校応援かたがた、新生大崎市及びその周辺に旅されることをおすすめて、ご挨拶といたします。幸多い一年でありますように。

古高新世紀

古川高等学校長 山本 照夫



新年明けましておめでとございます。在京古高同窓会の皆様にはご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年十一月二日の創立百十周年記念式典は、古高関係者のみで、簡素な中にも厳粛に行われました。

佐々木義昭県教育長、柏葉浩明県高校長協会会長、県議、首長、同窓会本部役員、支部長の各同窓生の皆様、PTA本部役員の皆様にご臨席頂きました。

在京同窓会からは高橋俊裕会長にご臨席頂き、有難うございました。

応援団長の先導による校歌とエールは、団長の声に続く男女全生徒の一九となった古高を示している感動的でした。

続いて行われた東北大学医学部教授・総長特任補佐・昭和四十七年卒の伊藤貞嘉氏による「バンカ

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4-3月、年会費は一口2,000円です。
- ・会の健全運営のため、振替用紙が同封された方には、納入をお願い致します。
- ・次回会報第41号は2008年6月1日発行予定、原稿は常時受付。

1面	挨拶
2面	本部同窓会だより
3面	19年度定時総会報告
4面	19年度定時総会議案報告
5面	自由投稿
6面	自由投稿
7面	会員通信
8面	寄稿/訃報/編集後記

ラで世界を目指せ」の記念講演は生徒に新境地を開かせる素晴らしいものでした。

今、大崎地区は大きく変化しようとしています。

古高、古川黎明高は三月に女子・男子卒業生を初めて出します。又、県立古川黎明中も初めて卒業生を出します。田尻高は募集を停止して、新しく単位制の田尻さくら高として、四月に出発します。古川学園は中高一貫教育のため、四月から中学校を二クラスで開校します。南郷高は三月の応募人数次第では募集停止の危機が訪れます。

学校改編の影響で、中学生、小学生の進路指導の複雑さが浮かび上がっています。

その中で古高は初志一貫、質実剛健、学問尊重、自主自律の校訓を基本に、伝統である文武両道を実践し、蛍雪魂、不撓不屈の精神を育て、社会貢献出来る人材を育成して行く決意です。

創立百十周年を契機として、これまでの実績を更に伸ばし、古高新世紀を創って行きます。同窓生の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。

在京古高同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

第15回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

【日時】平成20年1月26日(土)
11時00分～14時45分

【会場】上野 精養軒
電話 (3821-2181)

【会費】8,000円

【交通案内】JR上野駅公園口から徒歩5分

【案内図】



【出演】琉球伝統舞踊 八幡会「余音の会」

古くから伝わる沖縄の琉球舞踊を通して、沖縄の風を感じていただけます。

〈演舞目〉

- 1.四つ竹 琉球王朝文化を代表する宮廷舞踊です。
- 2.加那ヨー 野遊びで歌われていた庶民の踊りです。
- 3.カチャーシー うれしい楽しい人が集まれば、皆一緒に踊ります。

お知らせ

本部同窓会事務局だより

〜年頭にあたって〜

古川高校同窓会
会長 渡邊 義之



在京同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。今年も皆様方御健勝でご活躍されますよう心から祈念しております。

在京同窓会の諸兄には常日頃から素晴らしい同窓会活動を展開されているだけでなく、多方面にわたり母校へのご支援・ご協力を賜っておりますこと、心から感謝と敬意を表する次第です。

さて母校も昨年創立百十周年を迎え、在京同窓会からは高橋会長さんのご臨席を頂き、十一月二日に記念式典「写真」を挙行することができました。

式典には高十八回生の県教育委員会佐々木教育長・同じく十八回生の県高等学校校長協会長で現仙台第二高等学校校長の柏葉校長にも出席して頂き盛会のうちに終了することが出来ました。

その後、同窓生である二十四回生東北大学医学部第二内科の伊藤教授より在校生への記念講演をして頂き、大変大きな感銘と古高生としての誇りを生徒諸君に与えて

頂きました。

また、去る八月五日開催の同窓会の総会には在京の高橋会長を始め、多くの各支部の代表の方々に出席頂き、その後は十八回生の八戸大学副学長の鈴木宏一氏から講演をして頂き、氏はこの講演の中で大崎から世界に発信することの必要性を熱意を持って語られました。

この総会では異論もございましたが、会則の改正がなされ、平成二十年度から同窓会会費（年会費二〇〇〇円）を同窓会諸兄から納入していただくことが決定されましたのでお知らせ致します。

出費が何かとかさむこととは思いますが、母校発展をサポートする意味からも宜しくご協力賜れば幸いです。

終わりに、在京同窓会の益々のご発展と今年も相変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



近況報告

事務局長 大山 義男



去る十一月二日（金）、本校創立百十周年記念式典が厳かに執り行われました。在京同窓会からは高橋俊裕同窓会長に御出席頂き、誠にありがとうございました。また、在仙同窓会始め、各支部の支部長、PTA役員等約六十名ものご来賓の御出席を賜りました。

当日は午後一時からの開会宣言の後、校長式辞、渡邊義之同窓会長の挨拶、歴代校長、PTA役員への感謝状贈呈があり、その後県教育委員長の佐々木義昭氏（高十八回生）からの祝辞を頂きました。

そして生徒代表の挨拶の後、声高らかに全校生徒による校歌斉唱を行いました。その後応援団長のリードのもと、未来へ向けての古川高校の発展を祈り、大きな声でエールを行い、無事式典は終了致しました。

その後、午後二時から東北大学総長特認補佐・東北大学大学院医学系研究科教授伊藤貞嘉氏（高二十四回生）による創立百十周年記念講演会「写真」が行われました。

記念講演会は「バンカラで世界を目指せ」という演題で、先生自らの高校時代の通学の苦労話や勉強についての経験談を交え、東北大医学部を卒業してからの研究に

対するエピソードや二度に渡るアメリカ留学の話をされ、いかに自身の研究を極めて来られたかを生徒にもわかる視点で話して頂きました。

目標を持ち、常にそれに対して本気で立ち向かうその姿に生徒の心も引き込まれ、講演後は多くの質問がなされるなど好評を博しました。



その後午後五時から行われた同窓会主催の「伊藤先生を囲む会」には、同窓会役員他、PTA役員、学校職員ら四十名の参加者を迎えて、古川高校の百十周年を祝うとともに、伊藤先生の講演に対する慰労を兼ねて祝宴が行われました。

さて、記念すべき年を迎えた古川高校ですが、同窓会でも新しい変革の時期を迎えました。

今年八月五日に行われました同窓会総会では、会費制の導入が可決されました。会費制導入については、昨年度から懸案でありましたが、昨年一年かけて各支部のご理解とご協力を頂きますよう活動して参りました。

在京同窓会、在仙同窓会からのご意見もありましたが、現在の在校生が全額負担している同窓会運営の形態に対して、同窓生自らが運営する正常化へのご理解を頂き、来年度以降会員一人二千円の負担ということでも可決いたしました。

今後は、会費納入についてのお知らせと、同窓会活動の活性化を図るためにも、同窓会員への会報送付を行い、同窓会活動のより一層の発展を目指す所存ですので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、当日の記念講演会は鈴木宏一氏（八戸工業大学副学長・ビジネス学部長（高十八回生））による「アジアとの共生と大崎平野の底力」と題したご講演を頂き、約百十名の参加者を迎えて盛会に終わりました。

百十周年を迎えた今年度、様々な面での活躍が見られました。

部活動では三年連続インターハイ出場・東北大会三位を果たしたソフトボール部を始め、陸上競技部（二〇〇m走り高跳び・四〇〇m）、柔道部（一〇〇kg級）の東北大会出場などの運動部の活躍に加え、吹奏楽部の県大会銀賞入賞や視聴覚委員会放送班が「行っちゃお、甲子園！」で優秀賞をとるなど、文化面での活躍もありました。

また、勉学の面では奇しくも百十周年を迎えた本年度、男女共学化の完成年度を迎え、特に三学年では現在、女子一回生の進路決定に向けて、進路指導に活を入れていくところです。

新たな古川高校の進路開拓に向け、今後女子生徒の活躍にも期待したいと考えております。

総会報告

平成十九年度の定時総会は六月二十三日(土)十一時半から、御茶ノ水の「東京ガーデンパレス」に於いて開催いたしました。

会場として例年使用しておりました「神楽坂エミール」が閉鎖になったことにより、思わぬ会場探しを余儀なくされ、いくつかの会場を下見して決めました。

出席者数は会員七十三名で、亀井編集長(S55年卒)の司会により始められました。議事に先立ち、校歌斉唱、黙祷、高橋会長より挨拶があり、議長は昨年に引き続き上野正司幹事(S39年卒)が務め、以下の議案がいずれも承認可決されました。(次頁参照)

第一号議案

平成十八年度活動報告承認の件

(議案説明 曾根副会長)

第二号議案

平成十八年度決算報告承認及び監査報告の件

(議案説明 佐藤事務局長/監査報告 谷地森監事)

第三号議案

平成十九年度活動計画案承認の件

(議案説明 大友副会長)

第四号議案

平成十九年度予算案承認の件

(議案説明 佐藤事務局長)

議事終了後の祝辞で、来賓の渡邊義之同窓会長からは、来年度より同窓生に、新たに年会費の納入をお願いすることになるとい趣旨のお話がありましたが、年会費制度を既に実施している在京会員

にとつては、二重の納付願いといたうことになり、今後、戸惑う会員が居られるかもしれません。次に山本昭夫校長先生からは、母校の現況を交えての祝辞をいただいたあと、講演の部へ進みました。

昨年、初代大崎市長に就任された伊藤康志氏「写真左」は、「大崎市の昨日・今日・明日」というテーマで合併の歴史的経過・出来事などを述べられ、これから先、少子高齢化に向けて財政危機がなお一層進む中、市町村合併は地域構造改革の「天の時」と捉えて、自治能力を高め、新しいまちづくり・行政改革のチャンスになる。



それには、豊穡な耕土と豊富な水源、研究・教育機関や医療施設の集積があり、日本一の名湯(鳴子温泉)、渡り鳥のオアシス(蕪栗沼)、お米の研究日本一等々の自慢話ができることなど、二〇万都市づくりを目指して、約一時間にわたり熱く語られました。

市長さんに同行の二〇万都市戦略推進室長である松ヶ根典雄氏(S51年卒)「写真下右」と、県議



平成十九年度 定時総会出席者名簿

〔来賓8名〕
伊藤 康志 (大崎市長 古川出身) 山本 昭夫 (学校長 新潟県出身) 伊藤 需 (教頭 志波姫出身) 渡邊 義之 (同窓会会長 昭34卒 東大崎出身)
高橋 勝夫 (在仙同窓会会長 昭23卒 田尻出身) 大山 義男 (同窓会事務局長 昭56卒 岩出山出身) 松ヶ根 典雄 (大崎市役所 昭51卒 田尻出身)
菊地 恵一 (宮城県議会議員 昭52卒 古川出身)

〔会員73名〕 () → 出身地

昭18 豊嶋 紘三 (田尻)	昭28 中川 裕雄 (志田)	昭30 曾根 研一 (西大崎)	昭32 長沼 三郎 (小野田)	昭36 児玉 隆行 (古川)	昭46 笠間 邦彦 (浦谷)
昭19 青沼 康男 (荒雄)	昭28 渡邊 道雄 (鹿島田)	昭30 高橋 廣 (小野田)	昭33 大友 正行 (松山)	昭37 齊藤 武夫 (古川)	昭51 高橋 淳 (鹿島田)
昭20 安部 善次郎 (古川)	昭29 佐藤 興市 (松山)	昭30 平野 武 (長岡)	昭37 大山 隆志 (古川)	昭37 千坂 孝夫 (古川)	昭51 早坂 時男 (古川)
昭20 (44回) 高橋 昭典 (古川)	昭29 佐藤 廣 (岩出山)	昭30 横山 武 (松山)	昭37 佐々木 光一 (古川)	昭38 中銀 泰平 (古川)	昭55 亀井 明 (小野田)
昭24 前田 浩五朗 (古川)	昭30 高橋 清光 (富永)	昭30 渡辺 吉郎 (志田)	昭38 鈴木 節夫 (中新田)	昭38 大曾根 昇 (古川)	昭55 渡辺 誠 (古川)
昭24 門脇 健 (東大崎)	昭30 尾崎 光彦 (田尻)	昭30 浅野 清 (小野田)	昭38 高橋 俊裕 (富永)	昭38 佐々木 恭次 (古川)	昭55 平 3 (古川)
昭24 齋藤 馨 (小野田)	昭30 門脇 喜代志 (東大崎)	昭31 相澤 菊男 (小野田)	昭38 寺澤 一郎 (三本木)	昭38 宮本 信夫 (宮川)	昭55 平 8 (古川)
昭26 三浦 澄能 (古川)	昭30 門脇 敏明 (東大崎)	昭31 竹谷 靖夫 (富永)	昭38 野村 高義 (古川)	昭39 石堂 達夫 (古川)	昭55 青木 伸介 (小野田)
昭26 速藤 惇 (鳴瀬)	昭30 岸 康男 (鳴子)	昭32 今野 順隆 (小野田)	昭38 福原 喬夫 (古川)	昭39 上野 正司 (鳴子)	昭55 千葉 俊也 (中新田)
昭26 鈴木 桂吾 (川渡)	昭30 岸 康男 (鳴子)	昭32 今野 順隆 (小野田)	昭38 福原 喬夫 (古川)	昭39 上野 正司 (鳴子)	昭55 奈須 野宗隆 (荒雄)
昭27 谷地 森 (古川)	昭30 佐々木 豊三 (志田)	昭32 今野 順隆 (小野田)	昭38 福原 喬夫 (古川)	昭39 上野 正司 (鳴子)	
昭27 佐藤 清勝 (中新田)	昭30 佐々木 豊三 (志田)	昭32 今野 順隆 (小野田)	昭38 福原 喬夫 (古川)	昭39 上野 正司 (鳴子)	
昭27 春田 紘輔 (古川)	昭30 佐藤 忠良 (三本木)	昭32 今野 順隆 (小野田)	昭38 福原 喬夫 (古川)	昭39 上野 正司 (鳴子)	

あなたの夢を実現するためのお手伝い

中鉢 泰平(昭和37年卒)

- 宮城県玉造郡鳴子町川渡村黒崎出身、古川高等学校(野球部)卒業後、京都の大学で海外事情研究所属
- 大学卒業後東急航空(現東急観光)時代から国内・国際社会を舞台に現在まで世界旅行業界歴40年間
- 特にすぐれた世界の教育・医療・福祉をふくむ各業界の専門分野の視察・研修を手がけ情報を提供し、みずから添乗も行ってきた。世界文化遺産からその国々の観光から体験学習などの国際交流、学会など六か国語を駆使し、あらゆる国々をめぐる、添乗(ツアーコンダクター)回数300回を越える
- 長年の旅の出会いにより、日本全国に親愛な顧客を持ち、世界各国に多くの友人知人を持っている
- 旅を通じ国内世界を問わず、人との出会いを大切に思い、現会社を設立し、代表取締役社長を勤める
- 日本イタリア連絡協議会理事・在京鳴子町人会代表・在京宮城ふるさと協議会常任理事・みやぎの夢クラブ常任理事・(財)日本さくらの会会員やふるさと小・中高同窓会幹事及び大学同窓会役員を務める。現在在首都圏大崎連絡協議会副会長兼事務局長

●旅の安売りは危険、安心安全が第一そして旅から多くを学ぶこと

●机上の安売りプランではなく、足であるいた経験のプランを提供

●人生は旅のようなものであり、旅もまた人生のようなものである

〈第1号議案〉 平成18年度 活動報告

〈第3号議案〉 平成19年度 活動計画案

平成18年4月1日～平成19年3月31日

平成19年4月1日～平成20年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成18年		
6月3日(土)	会報「蛭雪37号」と総会案内発送	信陵会館
7月2日(日)	総会・講演会・懇親会 講演講師 山本照夫氏(古川高等学校長) 演題「古高の現況と未来」	神楽坂エミール
8月6日(日)	本部同窓会総会出席(岩城副会長)	大崎市グランド平成
12月16日(土)	会報「蛭雪38号」と四校合同新年会案内発送	信陵会館
平成19年		
1月13日(土)	「第14回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」 開催(幹事校・古工) (古高93名・黎明80名・古工55名・古学38名・ 来賓4名 合計270名出席)	上野精養軒
3月1日(木)	古高卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式出席 (高橋会長・曾根副会長)	古川高校
◎役員会：平成18年6月3日、7月22日、10月14日、12月17日、平成19年3月24日		
◎四校合同幹事会：平成18年10月26日、11月30日、平成19年1月5日、2月24日		

年月日	活動内容	場所
平成19年		
5月20日(日)	会報「蛭雪39号」と総会案内発送	信陵会館
5月20日(日)	在仙同窓会出席(門脇 健 幹事)	仙台エクセルホテル東
6月23日(土)	総会・講演会・懇親会 講演 伊藤康志氏(大崎市長) 演題「大崎市の昨日・今日・明日」	東京ガーデンパレス
8月5日(日)	本部同窓会総会出席(高橋会長・春田・曾根副会長)	大崎市グランド平成
12月16日(日)	会報「蛭雪40号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成20年		
1月13日(土)	「第15回四校合同新年会」開催 (幹事校：古川学園高校同窓会関東支部)	上野精養軒
3月1日(土)	古川高校卒業式並びに「東京蛭雪賞」表彰式(出席)	古川高校
◎役員会：定例は年4回、その他必要事案により関係役員会を開催		
◎四校合同幹事会：10月下旬から1月にかけて3～4回開催する		

第2・4号議案 平成18年度決算／平成19年度予算

収入の部

科目	H18年度決算額	摘要	H19年度予算額
年会費	758,000	338名 379口 @2,000	770,000
広告料	160,000	企業・個人広告	180,000
寄付・祝儀金	2,000	個人寄付	10,000
雑収入	238,206	預金利子、総会・新年会剰余金	150,000
収入計	1,158,206		1,110,000
前期繰越金	3,012,908		2,986,536
合計	4,171,114		4,096,536

支出の部

科目	H18年度決算額	摘要	H19年度予算額
会議費	80,201	役員会 会場使用料他	160,000
印刷費	510,938	会報、案内状、封筒他	500,000
事務用品費	25,200	コピー、文具代	30,000
事務所経費	30,000	年間契約料他	40,000
通信費	250,037	電話、切手、はがき	220,000
慶弔費	163,500	東京蛭雪賞、祝儀、支援金	100,000
活動強化費	0	組織活動強化費・予備費	100,000
旅費交通費	89,502	本部総会、卒業式等	120,000
雑費	35,200	会費払込手数料他	30,000
支出計	1,184,578		1,300,000
次期繰越金	2,986,536		2,796,536
合計	4,171,114		4,096,536

佐藤 啓三

(S40年卒 中新田)

中小企業診断士・ISO審査員・エネルギー管理士

KGK

ISO(品質・環境)・技術・経営
コンサルティング・グループ
株式会社 経営技術機構 所属

〒105 東京都港区虎ノ門5-3-20 仙石山アネックスビル1階
-0001 TEL 03-5425-2491 FAX 03-5425-2492
自宅 〒241-0004 横浜市旭区中白根2-22-19
携帯 090-1438-9132 E-mail FZN04730@nifty.ne.jp

情報処理のエキスパート/完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援

おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	4名
電子化ファイリング	5名
ファイリングデザイナー	2名
文書情報管理士	5名

代表取締役会長 早坂 清吉 (昭和29年卒)

株式会社 ケーヨー

http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

会員による自由投稿

自己半生記『私の追悼抄』から

プロ野球選手・プロ野球審判員

鈴木 徹先輩を悼む
昭35年卒 佐々木恭二

いつ完成するのか皆目わからないが、自己の半生を回想中である。その一編に「私の追悼抄」がある。私に写真前列左の心に残った人、人生の師の追悼である。その抜粋を投稿させていただいた。古川高校野球部のOBであり、恩師の高橋養先生(ドイツチェ)写真前列中央の追悼が先であるが、2006年6月号(蛭雪37号)で中鉢氏に写真後列右から二人目IIが追悼文を書いてくださった。九年前の東京での野球部OB会の写真で高橋・鈴木に写真前列左から二人目IIと二人の追悼とさせていただきます。

鈴木 徹(すずきとおる)

1936~2004 プロ野球選手・プロ野球審判員
宮城県の古川高校を卒業後、1955年に内野手として大洋ホエールズに入団。一軍出場のないまま引退し、セ・リーグ審判員に転ずる。三十二年間審判員をつとめ、約2500試合に出場したのち、1994年シーズン終了後引退(出典:フリー百科事典「ウィキペディア」より)

私に(プロ)野球への夢を持たせ、つなぎ、あきらめさせた先輩である。私が中学二年の時である。私の兄(佐々木健一 昭和三〇年卒 平成十六年没)の高校の親

友で、プロ野球入団の時、私の家に泊りて旅立ったのを記憶している。その時にもらった硬式ボールを私の宝にしていた。

当時、古高の野球部は福島県勢と甲子園出場を争っていた程で、鈴木徹氏と伊藤春男氏(昭和三〇年古高卒業と同時に、毎日オリオンズに投手として入団、翌年退団。電通東北支社勤務。平成十八年没)がプロ野球入団を騒がれていて、別当監督(当時、毎日オリオンズ)が古高をスカウトに訪れた事を聞かされた。

鈴木氏入団の翌年、同球団に大塚から秋山、土井らのそうそうたる選手が入団して、はみ出されたことも知らされた。



私が学生時代、兄と一緒に横浜のお宅へ遊びに行った記憶がある。また、審判引退後、東京で開いた高校野球部のOB会に写真IIで一度お会いしたが、元気がなかったのが気になった。

私の兄が没して十一日後、十二月二十二日に亡くなった。享年六十八歳。

二期会の開催

昭25年卒 工藤英三郎

去る十一月八日に大崎市内の芙蓉閣に於いて同級会を行いました。我々が昭和二十五年三月学び舎に別れを告げて、早や五十七年の歳月が流れました。

昭和三十八年に古高二期会を設立し、年に一度の集いを持ち、旧交を暖めながら今日に至りましたが、諸般の事情によりまして、今回で一旦終止符を打つことになりました。



古高二期会総会

案内の中に、今後についてアンケートをとりました。死亡者、又は行方不明者、卒業以来一度も出席しない人など結構おり、今回整理をいたしました。その結果80%

が継続を希望しておりました。この数年は、参加者も二十人前後で非常に少なくなりました。開催地は何時も鳴子か松島でした。

さすがに今年は最後で、しかも地元での開催ということで四十五名が出席しました。恩師の出席は鈴木弘先生一人でした。終了後は仙台や近郊の人たちは、殆ど帰宅したようです。東京からの参加者は八名で、終了後は実家又はホテルに宿泊し、翌日は先祖の墓参り、友人の見舞いなどでそれぞれ別行動をとりました。

今後につきましては、本部の幹事で名称・開催の方法など次回までに決めることになっております。長年の間、諸先輩始め皆さんにご指導ご協力を賜りましてありがとうございます。取り急ぎご報告まで。

わが同窓会を思う

昭37年卒 中鉢 泰平



最近年のせい、いろんな組織に関わるようになった。もとを正せばわが在京同窓会に顔を出したのが始まりだった。それまでは、望郷の念どころか、食うために働くことで精一杯だった。わが同期生の千坂孝夫さんが

っかけで、顔を出してみたところ、都会に来ての自分の孤独さが一瞬に吹っ飛んでしまった。その時、同窓と言う有難さを実感したことであつた。

まあ、何はともあれ、どこの組織でも悩みはほぼ同じである。それは、若い人や新しい人がなかなか入ってこないことである。この悩みを解決すべく、いろんな組織で私も奮闘しているところである。以下、少しばかり、我が同窓会のあり方について私見を述べてみたい。

新しい人、若い人を呼ぶには、今の時代に即した組織作りには欠けているのではないかと。そもそも同窓会は「思い」の組織なので、この「思い」を生かす方法を創意工夫しないと共感を得ないだろう。

よく会員を増やそうという意見が出されるが、会費の安い高いについて提案するケースが多い。私見としては、どんな組織でも、クオリティ(オーバーク)かも知れないが、会の崇高な目的)について、まず、議論すべきである。会の趣意について、役員間でもっと語るべきである。どこでもやっている同窓会ではなくて、時代に沿った同窓会の目的や趣旨を常に見直す必要性があると痛感している。

一つの事業にしても、何十年も同じことを繰り返すのではなくて、プラスアルファの思い切った企画が要求される。

このような努力が新しい人にも共感を呼び、同窓会ならではのメッセージを感じてもらえるのではないか。同窓会も量よりクオリティが大切である。

在京古川三高校
柔道部OB会忘年会
昭27年卒 春田 絃輔

平成十九年度柔道部OB会忘年会(第二回)「写真」が十一月二十四日(土)JR田端荘で開催されました。出席者は豪華メンバーです。遠方から御出席の方のためもあって、十三時開催としたことで昼間から大いに盛り上がり、柔道という共通の話題のほか故郷の話も加わり楽しい時間を過ごすことができました。

まず旧古川市内三校が合同で集まる場というものがほかにあったとしても、柔道とか野球というようなスポーツの世界での集まりは、私達が初めではないかと思えます。

そして集まりの内容であります。個々の話題もありますが、出席メンバーを紹介させていただいた方が一番御理解に近いように思いますので、人物紹介といたします。

今回は古川学園理事長泉沢和穂さんが古川から参加されました。泉沢さんは、古川商業第一回卒で柔道部創立者です。柔道は七段で宮城県柔道連盟副会長という要職にあります。そういう方がはるばるこの会に御出席いただいたという事は、この会としても非常に名誉であり大変感激いたしました。

次いで仙台から御出席いただきました堀越五郎さんです。堀越さんは古高三十年卒で県代表で国体選手として何回も出場された柔道界の名士であります。泉沢さんと同じく、県柔道副会長・東北大学柔道部師範という要職にあります。

す。八段です。

次に在京のなかにも人材がおります。古川工業在京会長佐藤喬(三十二年卒)さんです。佐藤さんは(故)片平さんと古中同期で柔道を始めて、明治大学柔道部で活躍された実績があります。

それから古高四十四年卒の木村仁さんです。木村さんは今会の出席者で二番目に若い人です。古高時代県大会三位という実績があり、神奈川大学に進まれてからも柔道を続け、現在も神大柔道部総監督として学生柔道の指導者であります。

もう一人四校会で無名でありましたが、特出した人がおります。古川商業三十七年卒の川名博彦さんです。この方は、警視庁東京空港(羽田)署長という要職を勤められました。柔道では有名大卒でもなれない選抜メンバーとして活躍されました。六段です。



出席者全員十五名、全員紹介したいところですが、誌面の都合もあり以上の方々ととどめさせていただきます。

た。氏名のみでお許し下さい。

〔古高〕横山(20) 遠藤(26) 春田(27) 加藤(28) 佐々木寛(31) 菊地務(41) 藤井(41) 早坂(51) 〔古工〕渡辺(29) 〔古川学園〕伊藤誠(38)

最後に、この会はふるさとで柔道で鍛え磨かれた人達の集まりであります。すでに回を重ねた四校新年会のメンバーでもあります。これからも四校会の発展のために貢献することも目標の一つにしてゆきたいと念じております。

「37の会」を
天成園で開催
―九名での玉簾れの滝―
昭37年卒 千坂 孝夫

三月の秋保温泉・緑水亭時に次回としての開催を予告。

案内は二一〇名ほどに行つたが、返事が届いたのは四〇名あまり。「病」の文字が多く目についた一人、伴侶、老親。

参加者は9名(在京5名、大崎・仙台4名)であった。小生としては人数にはこだわらなかつた。集まった人たちが楽しく過ごせれば十分。年金生活者にとつての一回での支出二万円、ましてや仙台からとなれば倍の四万円は軽い額ではない。大人の休日クラブでの三日間乗り放題なり長距離バスの利用。子ども宅訪問などのついでの用事。

小生も相模原である世の職場先輩に焼香、厚木で元上司ご機嫌伺いの二用事を済ませ、箱根湯本へ。箱根はまさに紅葉真っ盛り。ああ、ここがかの吉池・・・十五分でお宿・天成園着。宴会開始は六時

半であったが、めつきり絶えてしまった高級お宿泊。チェックインタイムの三時に入館し、露天風呂を楽しむ魂胆ではあったが、主は副幹事としての遠来同期のお迎え。



37の会 箱根にて

露天の湯と古代檜風呂入浴。鳴子慣れの湯通人としては、これが温泉?と感じるほどのさっぱり湯。(もの足りなかつた?)六時半、宴会開始。とは言つても小規模ゆえ、すみからすみまで通る会話。

古川からの鈴木勝治君一なに、来る前に船橋本町の歌声喫茶「五里」でロシア民謡を熱唱してきたとは。(灯台下暮らし)。

来年十一月に同窓の葛西氏指揮による佐沼出身及川ピアノリスト(春田夫人熱烈ファン)の鑑賞会を準備中とのこと。

音楽部出身故、話声も笑い声もデカイ!それにしてもあのラムネ瓶底無用は医学進歩のおかげと感謝していた。

鳴子・柴崎清勝君―精肉店経

営。「煎茶道」の鹿島台通い。確かに書道、俳句、お着物、関連多し。いい趣味人!

湯村弘君―現役時代は小学教師、今も関連。中村会長の岩出山ポン友。「雷ちゃんも来るヨ」と言われれば参加せざるを得ない。やはり、手書きの一筆が決め手!の見本。

錦戸正継君―現役、会社役員。徳陽さんからのやむを得ずの転職も納得のバリバリ。菩提樹にはできるだけゆつくりと。多角経営の北日本海事。

佐藤八一郎君―北日本海事勤務。どうして内装業を?も、日産建設の前歴あればこそ。スエーデン人はドイツ、日本人と通じるメンタリーの持ち主。娘さん、心配ないッスよ。

吉田幸一君―知る人ぞ知る考古学通、山川出版OBなればこそ。小生が仕込んだ「真鶴隠れ名酒」情報に依って曰く「大吟醸真鶴」は最高!箱根に一番近い町田住民ゆえ、翌日の箱根案内、ご苦労様でした。

中村雷助君―生徒会長の参加は百人力。郵政OB、二級ヘルパー、社保庁の年金相談(電話)員。趣味は絵画、吉祥寺での三多摩展、楽しみにしています。

中鉢泰平君―海外旅行業のベテラン、こよなく郷土とソニーを愛す。最後に千坂。中鉢君のお陰で「交際費」計上可の身に。人生、六十歳台は第二のゴールデンエイジ!を実感。三年に亘る大修理があつたればこそ?

会は持ち回りとし、次回は〇八年十一月二十九日(土)、仙台を予定。又、愉快な一夜を過ごしましょう。

会員通信

●田尻町出身・古中・旧制二高・東北大

●直系の大先輩・諸勝氏(十七年九十九歳)で没の後をうけて「経営労務クラブ」の活動を続けています。二高の「尚志」の精神を大切に。②中学で一生敬慕する恩師に出会えたのは幸でした。③若き後輩達の活躍と同窓会の発展を祈る。(S18豊島区)

●御無沙汰しております。只今「豊島区」三巴1認定資格を取得すべく奮闘中です。一年間で20科目40単位を履修し、全科目試験合格が条件という超ハードな内容です。七月と一月に試験が予定されています。そんな事情にて今回(総会)欠席とさせていただきます。(S18渡辺三男)

●七十九歳になりました。生きていて、動ける限り(同窓会に)出席します。(S20前田浩五郎)

●元気に仕事を続けています。高橋勝夫さんが仙台の同窓会長の時。来られたら呉々もよろしくいって下さい。良く知っている間柄です。(仙台)日本化学療法学会の市民公開講座で十九年五月三十一日講演と座長を務めます。倉澤君とは時折折電話で話をしていました。佐々木一司さんになくなった由、驚きました。(S22伴野愛野記念病院院長(松本慶)

●晴りの地にて元気に暮らして居ります。北辰居共所而榮生焉。(S23佐藤浩明)

●平均九月、山荘に滞在。野菜、花、果物作りを楽しんでいます。適度の労働の故にお陰で健康に恵まれて、ヴェジタリアンを自称している。七坪の畝を耕し、シズンには野菜を自給自足、農業を使わず防虫ネットで対応している。苦時不在故に野生鹿、カラスの食害防止に苦心している。(S24齋藤 馨)

●地域の各種活動に、近頃は楽しくも忙しい毎日にお忙しです。会員各位のご健勝と、母校並びに同窓会の発展を祈っております。(S24三浦澄也)

●①会報に会費納入欄が加わったのが良い。会費を除く支える方には既に実施中だが、②会に役員を出していきなさい(期を明記する)こと。(今後の動きが楽となる)③定時総会の議長役を六十歳の時に委嘱することとを明記した方がよい。(S26鈴木桂吾)

●平塚共済病院の外部委員(市民代表的な立場)一人として、また居住地の氏神様の総代の一人として、それぞれ月に二回程度召集されています。ふだんは曜日毎にやるべき事を決めて週単位で決まっていた毎日を通り越して週単位です。テックノオイトツ(ジャズダンス場)の非常勤監査役を当分続けることになりました。(S27斎藤泰郎)

●を楽して生きています。(S28早坂明久)

●元気で過ごしております。昭和二十九年辛卯に例会を開催しております。近況報告を聞きながら楽しく英気を養っております。(S29岩淵瑞穂)

●日曜は社会福祉協議会会長に就任以来、土曜は地元協会の会長も兼ね、地元優先となつて残念ながら(総会)出席できません。新生大崎(市)の地、ふるさとの栄えあれと折る此の頃です。(S29佐藤 廣)

●昨年(十八年)、薬剤性肺炎で入院しました。散歩と筋力体操を続けています。地域のマンション・ネットワーク(懇談会)に参加しています。夏・冬各二ヶ月半程、避暑・寒でマレーシアに脱出していることが多い最近です。共に出かける体力のある間は:と思つて暮らしています。(S29関口克己)

●29の会(二十九年度辛酉)懇親会での尺八伴奏、古川高校歌を尺八楽譜にてわからず作曲者は、田村虎蔵氏は「金太郎」一寸法師」を作曲した方であることを知り、身近に感じました。尺八四段をめざし奮闘中。パソコンに加えデジカメにも挑戦中。時間が足りないとボヤケています。(S30木村哲弥)

●歴史のある高校、益々良い高校になりました。孫のお守り(二歳と五歳)です。(S30豊田 剛)

●A豊心大学在学中(高橋佳子主催)、「現の学」講座。(S30岸 孝樹)

●昨年(十八年)の一月、胃(ガン)の手術を受け、体調回復に引続きトレーニングの方々にアルバイトしております。年齢的には三年周忌を迎える芳武(先生)叔父の目標に生かすべく、(?)しております。同級生にもここ欠席続きです(申し訳ない)。息子夫婦が同居のための家の建替準備中です。(S30庄司芳郎)

●七十歳の大会に乗り込みました。しかし、このまま老いと思つておりましたが、この役目される人が居て、技術論の英文抄録を和訳するアルバイトを得ました。ところが意味をなさない英文でも意味をなさないようには訳すことという条件があり、まことに神経が疲れます。少々くも一〇〇〇ヶはやると弁慶の心境です。(S30高橋 広)

●平成七年に銀行を定年退職し、十三年(広)園年長組と、日一と生長五年生、女孫は幼稚園生、夏休みに来る日を楽しみにしています。在京古高の同窓会に出席するのが楽しみです。昨年(十八年)の十二月には同窓会名簿について大変お世話になりました。来る六月一日(大変お世話になりました)に於いて、チェイス銀行OB会があり出陣の予定です。チェイス銀行OB会があり一昨年(十七年)病に倒れ、会社勤めを辞めた。現在は体力の回復と健康管理に留意しながらのんびり日々を送っております。(S32木内兼夫)

●元気で平和な日々です。平成十九年度より所沢市青少年、中央図書館、社会福祉協議会在宅援助、三つのボランティアに忙しい日々であります。感謝に充たされております。社会保険庁の年金騒動は過ぎ、役人の無責任務省のアジア諸国に対する問題、人口問題

●の厚労省、無駄な公共事業の国交省、学校教育混乱の文科省等、国を悪くしているのは議員・役人である。(S34青沼事務所 青沼行雄)

●病と闘いながらのんびり致しております。(S35岩崎光任)

●今年から古高の完全に男女共学になる由で、我々の現役時代には思いも及ばなかった事です。基本的には男女共学が自然の流れなので、昨今は今年三歳の孫娘の成長に期待する処大ですが、将来彼女が共学時代に進学するのかどうか、興味を持って見守っております。(S35田中 将夫)

●校長に再選され、二期目を務めることにいたしました。(S35国立大法大法人筑波技術大学 大沼直紀)

●五月二十四日定時株主総会で京成ビル㈱の取締役社長を退任、四十一年間のサラリーマン生活を終えることになりました。第二の新しい人生を楽しみたいと思っております。今後共よろしくご教示のほどお願い申し上げます。(S35今野正弘)

●今年(十九年)一年で現役を退く予定とさせていただきますのでよろしくお祈りください。(S36大曾根秀憲)

●中国勤務から戻りました。「蜜雪」楽しく読ませていただきました。(S36藤 浩)

●母校が男女共学に成るとは夢にも思つていませんでした。少子化時代なのか、古高の今後の進み方向に期待して居ります。(S36藤 浩)

●「会報」蜜雪で、遠く離れた故郷と若かりし頃の学生時代を思い出しています。「会員通信」は、同窓の皆様のご活躍や近況が判り楽しく読ませて頂いております。(S36アリアントエンジニアリング(株)長井 清)

●取敢えずは元氣。今は年金生活の日々。しかしながら、野球と云う趣味を持って、週三回練習、試合等で、それなりに充実した毎日を送っております。(S37戸照男)

●日程なかなか合わず、今回も(総会)欠席、事務局に苦言かけます。まだ常勤で働いていますので、時間調整をしながら、これも生かしているうちが實況なんだろう。共に元氣で頑張りましょう。(S37藤 馨)

●昨年(十八年)十月より、公民館での仕事を初めました。病気で休んでいましたが、なんとか続けられました。健康が一番です。各レベル(中・高・大・職)でのOB会活動への積極参加。地域生活、エンジョイ(そは)は打ち・市民大学)日本百名山(八十九番目として後方羊蹄山登頂。(S37坂孝夫)

●亜熱帯の沖縄勤務も四年目に入りました。日本一米軍基地の多い島嶼県沖縄に特化した新型インフルエンザ対策を確立しようとする沖縄県当局・米軍・医師会・県立病院等の関係諸機関と連携強化して行くところであります。(S38阿部 重人)

●蜜雪第三十八号、楽しく拝読致しました。今後共、会報発行に期待しております。(S38阿部 重人)

●堺と仙台が姉妹都市になった、あ、堺市も政令都市になった、文化的にも宮城とのつながりが深かったんだと感じる年齢になりました。同窓会名簿の中に、なつかしい名前を見つけた、ついで故郷をなつかしく思つてペンをとりました。そのような気持ちになる頃には同窓会に出席できるはずでしたが妻の病気の為、思うにまかせません。会いたい友が沢山います。(S38大阪府堺市中井洋一)

●昨年(十八年)、しばらくぶりで出席した同期生にお会いでき楽しい一時をすごしました。(S39文教大学契約職員(笹原誠一))

●リストアで早期退職し、自宅で樹木・草花とそして近隣の自然を楽しんでおります。(S40工藤 邦保)

●幹事及び事務局の方々、大変お世話になっております。今年度も一応の定年を迎えますが、今年度も一応の定年を迎えます。六月中(十九年)はベルギーへ出張のため総会は欠席とさせていただきます。(S41独動物衛生研究所 高橋秀之)

●現在、平日は鹿兒島県霧島市にある志学館大学の法学部のゼミを担当し、土曜日には明治大学法学部のゼミを担当しております。六月二十三日も明治のゼミで(総会)欠席します。(S41志学館大学 藤吉和史)

●一月(十九年)の在京古川会は大変楽しい一日でした。(S45佐々木 賢)

●先日、約十五年ぶりに学生時代の友人二人と会い、約十五年ぶりに学生時代の友人二人の友人とは、本当に久しく会っていません。仲々会はないのですが何とか作ろうと思、束春の新年会は行こうと思つていませんが、S52日本放送協会コンプライアンス管理部 平野 幸三)

●盛岡へ単身赴任して四年目。週末に東京に帰ると言う生活です。S5十五年卒では亀井くさんがんがって来てくれますが、私のこと覚えてますか?(S55盛岡大学 鈴木健之)

●なる頃には同窓会に出席できるはずでしたが妻の病気の為、思うにまかせません。会いたい友が沢山います。(S38大阪府堺市中井洋一)

「アウトソーシングを支援する」 パルスタッフ株式会社 厚生労働大臣認可・人材派遣業(般13-300435) 代表取締役 渡 邊 道 雄 S28年卒(鹿島台町) 本社 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-4-7 10F 10F TEL 03-5364-5251 FAX 03-3330-7585 東京営業部(03-5364-5251) 神奈川営業部(0462-77-0791) E-mail: m.watanabe@palsbk.co.jp

内科・小児科 長井内科 院長 医学博士 長井 弘 策 [昭和31年卒(高8回)] [古川高校同窓会副会長] 〒989-6154 大崎市古川三日町1-3-25 TEL 0229(91)1020

税理士 青沼康男 不動産鑑定士 (昭和19年卒) 〒108 東京都港区芝4-6-16 ライオンズ三田805-0014 TEL 03-3452-2004 FAX 03-5476-8006

「メタボリックシンドローム」とは何か
 長井内科医院院長
 古高同窓会副会長
 昭31年卒 長井 弘策



I はじめに

最近話題のメタボリックシンドロームとは、内臓脂肪症候群とも言われ、脂質代謝異常、糖代謝異常、血圧の異常と肥満を併せ持った状態を言います。これらの異常は、単独でも動脈硬化を進展させ、高頻度に脳梗塞(のうこうそく)や心筋梗塞を発症させる危険性があります。重複する事により、更にリスクが高まり、死の四重奏と言われるように大変危険な状態になります。十分に気をつけねばなりません。

メタボリックシンドロームは、働き盛りの人々を心血管病変から守るために生まれた新しい概念です。

II 診断基準

- ①肥満
立位で軽く息を吐き、臍(へそ)の高さの腹囲を測定します。腹囲男性85cm以上、女性90cm以上
- ②高血圧症
収縮期血圧130mmHg以上又は拡張期血圧85mmHg以上

- ③高脂血症
中性脂肪 150mg/dl 以上又はHDLコレステロール 40mg/dl 未満
- ④糖尿病
空腹時血糖 110mg/dl 以上

〔診断〕
 ①に加え②③④のうち、2つ以上の項目が重複した場合、メタボリックシンドロームと診断されます。
 前記②③④のうち、加療中の方も項目に当てはまります。

III 肥満のリスク

内臓脂肪型肥満(腹部が突出するタイプ)が問題です。主な原因は食生活の変化と運動不足です。食生活の変化は、従来の野菜や魚中心の和食が動物性脂肪の多い欧米化した食事に変化し、更に一日の食事の摂取カロリーのとり過ぎが挙げられます。

IV 生活上の注意点

- ①食事
一日三食、規則正しく食事をし、野菜を十分とる。食べ過ぎないように腹八分目にする。食事が不規則な場合でも夕食が深夜に及ばないようにする。
- ②コレステロールが高い方
卵黄、牛乳、バター、チーズ、動物性脂肪をとり過ぎないようにする。
- ③中性脂肪が高い方、腹部超音波検査で脂肪肝と診断された方
米飯、アルコール、脂肪分をとり過ぎないようにする。
- ④血糖が高い方
カロリーのとり過ぎに注意する。運動、歩行が大切。米飯は一食につき軽く一膳。甘いもの、果物、アルコールをとり過ぎないようにする。

- ⑤血圧が高い方
塩分を少なめに、一日6g以下。味噌汁は薄味にする。
- ⑥運動
速歩き又は、歩行を一日30分。一日一回体重とウエストを測定する。

V むすび

血圧、コレステロール、中性脂肪、血糖、肥満が気になる方は、早めに医師を訪れ、定期的な検査を受けて下さい。大切なのは食事療法と運動療法ですが、それでも改善されない時は薬物治療が必要です。

内臓脂肪を減らす事を目標に、ウエスト径の減少を目指し、脳梗塞や心筋梗塞等の血管病変を予防できれば、健康で長生きする事が可能です。

ご案内

「首都圏大崎連絡協議会設立総会」
 ◆開催日時：2008年2月16日(土)
 午後1時30分～設立総会
 午後3時～懇親会(5時閉会)
 ◆開催場所：永楽クラブ
 (東京都千代田区永田町2-12-4
 山王興和ビル7F)
 ◆電話：3580-0046
 ◆東京メトロ「赤坂見附駅」下車、
 山王神社方面徒歩3分
 ◆会費：8000円

本協議会は大崎市(古川、鳴子、岩出山、田尻、三本木、松山、鹿島台の旧1市6町)関係の単位団体で構成され、郷土愛の高揚と会員相互の親睦と併せ、大崎市の発展に寄与することを目的としております。
 参加者は八十名を見込み、現在、中鉢実行委員長の下、鋭意開催準備中です。
 大崎市長、大崎タイムス社長はじめ多彩なご来賓に最新の大崎情報。奮ってのご参加、お待ちしております。
 (千坂)

心よりご冥福を
お祈りいたします

- 師 勝夫氏 (大15年卒) 平成17年10月
- 伊藤 幸也氏 (昭20年卒) 平成16年12月
- 及森喜次郎氏 (昭25年卒) 平成19年8月9日
- 工藤 輝夫氏 (昭25年卒) 平成19年2月4日
- 工藤 泰宏氏 (昭28年卒) 平成19年1月4日
- 三浦昭五郎氏 (昭30年卒) 平成19年6月14日
- 佐藤 公哉氏 (昭32年卒) 元在京同窓会幹事 平成19年11月1日
- 佐々木 敦氏 (昭37年卒) 元NHKアナウンサー、第10回四校合同新年会講演講師 平成19年5月17日

編集後記

四十数年にわたり勤務し、現在、事務局長として裏方を務めているプロ合唱団・東京混声合唱団が、十月二十三日、古高創立百十周年記念芸術鑑賞会に招かれました。「私も、クラシック音楽を初めてナマで聴いたのは、古高生とき、この様な芸術鑑賞会でした。」
 当日は大崎市民会館のステージ上から挨拶をいたしました。芸術鑑賞会に招かれたのは十一年前に引き続き今回が二回目。十年前には百周年記念CD「古高校歌・応援歌」の録音を依頼されるなど、さまざまな形で母校に関わらせていただき、これまで現役で居られた幸せを感じました。(曾根)

日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業
 株式会社 佐々木商事 代表取締役
 株式会社 アクアバンドジャパン 代表取締役副社長
 佐々木 光一路 (昭和33年卒)
 〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル-0035 第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
 電話 (3739) 2468
 F A X (3732) 7700
 HOT Line 090-3202-6393

趣味三昧
 特定非営利活動法人
 日本刀剣保存会
 理事長 宮野 貞司 S34年卒
 〒142-0053 東京都品川区中延3-13-17
 TEL・FAX 03-3782-5326